

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名 (旅宿上松や (有限会社上松屋旅館))

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得証があれば、併せて記載) 【非該当】を選択した場合こちらには理由記載	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 (必須)			就業規則に基づき実施と、入社時に周知している。また半年に1回の全体会議や部署ごとの会議で都度周知している。年1回の人事考課と面談で相談を受けている。差別することなく全ての体制と人事体系を整えている					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 (必須)			就業規則に基づき実施と、入社時に周知している。また半年に1回の全体会議や部署ごとの会議で都度周知している。年1回の人事考課と面談で相談を受けている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 (必須)			就業規則に基づき実施と、個人ごと労働契約を適切に結んでいる。残業はほとんどない体制にしている。								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 (必須)			就業規則に基づき実施と、個人ごと労働契約を適切に結んでいる。外国人労働者に対しても日本人同様同じ業務と同時時間の業務を課している。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			3ヶ月に一度、使用する機会や道具、館内の点検を行い、都度修繕や業者との確認作業をし、事故がないよう努めている。			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 (必須)			人事考課や面談を実施し、相談するよう心がけている。またLINEなどを活用した相談や、従業員同士の飲み会などを希望に応じて開催し、いつでも相談できるような体制を整えている。 【予定】メンタルヘルスに関する計画と方針を策定し、休暇制度なども取り入れる			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			就業規則に基づき実施と、個人ごと労働契約を適切に結んでいる。外国人労働者に対しても日本人同様同じ業務と同時時間の業務を課している。 【予定】多様な人材の活躍している状況をホームページに掲載する					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 (必須)			年に1度程度外部講師を呼んだ社内研修、地域内旅館組合の開催するセミナー、その他対外的に開催されるセミナーや研修に積極的に参加している。また資格取得や勉強会などそれに関わる費用を補助する制度を設けている				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 (必須)			就業規則に基づき実施					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)						3					8									
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 (必須)			廃棄物の分別と、専門業者も入れて適切に分別。廃棄をしている。 生ごみについては堆肥化の機械を使用し、出た量を計って記録している											11.6	12.4		14.1			
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 (必須)			水道や燃料は請求ごとにリスト化し比較している。 電気代はデジタルに登録し、節電プログラムも都度登録。						7.3						13					
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 (必須)			水道や燃料は請求ごとにリスト化し比較している。 電気代はデジタルに登録し、節電プログラムも都度登録。 社員と顧客に対し節電節水などをお願いをするよう心がけている						7.2 7.3						12.4	13.3				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 (必須)			ほとんど営業中使うことはないが、使用機器や燃料など業者から都度適切な説明を受けて適切に保管・利用をしている			3.9			6.3					11.6	12.4					

項目 番号	カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (果などの取得証拠があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
15	環 境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)			ごみなどは適切に廃棄し植樹や畑の整備などを通じて環境に配慮している						6.6									15		
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)			業務で使用したもの(旅館などでタオルや歯ブラシ、紙類など)リユースできるものは全てする。ペットボトルなどは集めてリサイクルに出している。情報伝達に在る紙類などは極力データ化している												12.5		14.1			
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)									6.4 6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)						3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)															12.6					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)										7.2						13				
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			旅館のため温泉を有効活用し、資源を守るため地域の団体(財産区)と都度協議をしている。資源を枯渇させないため、圧力や排出量が減少した場合はお湯の制限をかけている												12.2	13	14	15		
22	公 正 な 事 業 慣 行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			汚職や贈収賄禁止などを含む行動期間を整備し、就業規則で記載、年1回ミーティングで説明・周知している																16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			不正な競争や行為に関する方針を定め、就業規則で記載、年1回ミーティングで説明・周知している。																16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 (必須)			* 知的財産権のない職種です。							8.2 8.3	9									
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 (必須)			就業規則で記載、年1回ミーティングで説明・周知。各個人と契約書を結んでいる。																16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ (任意)																			16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)							5			8		10		12	13	14	15	16	17	
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト: https://www.biz-partnership.jp/	基本 (必須)		【予定】	作成予定			3				8	9	10								17

項目 番号		チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (果などの取得証拠があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 (必須)			「お客様の声」や「ロコミ」の製品・サービスの開発・改善への反映 料理や商品の適切な説明(松茸の国産・外国産など産地の公表など)			3.9									12.4					
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 (必須)			「お客様の声」や「ロコミ」の製品・サービスの開発・改善への反映 予約時のアレルギーなどの対応 食材提供事業者との連携や材料の詳細チェック									9								
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			自動販売機をCO2削減できるダイドー社製のものを取り入れている						6						12	13	14	15		
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ (任意)				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	地域・社会貢献・	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 (必須)			旅館業なため、宿泊者に対して地域の案内や地域のお店の案内などを実施。				4					9		11	12		14	15		17
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			災害があった場合の寄付(今までは東日本大震災や大雨、豪雪による被害、タイの地震など)を都度募りユニセフや赤十字に募金				4							11			14	15		17
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ (任意)			提供している夕食の全てのメニューに信州産を一つは入れ、地元の食材もフル活用している。								8	9		11	12	13				
36	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本 (必須)			入社時、年2回の全体会議、月1回の部門別会議で共有、社内へ張り出しなど								8	9								17
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本 (必須)			入社時、年2回の全体会議、月1回の部門別会議で共有、社内へ張り出しなど																16	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本 (必須)			社長、女将、支配人が担当し当社の社会的役割や事業をミーティングで都度説明し必要に応じて面談をする中で話し合いをおこなっている。																16	
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本 (必須)			お客様のロコミや声へ適切に回答し、関連団体や業者とは常に意見交換をしている																16	17
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ (任意)																			16	
41		【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ (任意)																			16	
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ (任意)			火災や災害時の避難ルートや連絡網の構築、年1回の訓練を実施									9		11	13 13.1			16		
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ (任意)			H28年に前社長(当時68歳)から現社長(当時38歳)へ承継済み								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる		生ごみの目付循環に平成25年より取り組んでおり、発酵分解処理装置を活用し年間5000-9000トンの生ごみを1500トン前後堆肥化。それを白社農											11.6	12.4		14.1			
【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している		地元の米農家と専属契約をしている。																	
【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる		エアコンを最新設備に切り替え、灯油の使用量前年比40%削減に成功。以後も継続中							7.2 7.3					12.4	13.3				
										8	9		11	12	13				
【記載留意事項】 ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。） ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。 ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。 （※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）																			

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定